

国際政治研究の先端 17

日本国際政治学会編

オーストラリアとアンザス危機 (一九八四—一九八六)……………	玉水玲央
イギリス帝国の終焉と現地の危機……………	篠崎正郎
腐敗防止の国際規範とロシア……………	油本真理
フォード財団と一九五〇年代のアフリカを巡る冷戦……………	奥田俊介
サッチャー政権初期イギリスと欧州政治協力……………	柏谷真司
〈特別連載〉	
序章 日本の国際政治学 ——仕切られた対話からの共創?……………	大矢根 聡
第一章 日本国際政治学会の安全保障研究……………	泉川 泰博
第二章 日本における国際政治経済研究の 特徴と課題……………	和田 洋典
第三章 日本の国際政治学における日本外交史……………	井上 正也
第四章 日本におけるアメリカ政治外交研究と 「国際政治」……………	上村 直樹
〈書評論文〉	
なぜ思想史か——二〇世紀前半の今日性……………	西村 邦行
戦前期の日本外交はなぜ一貫したか……………	中谷 直司
グローバル・ガバナンス研究の最先端……………	毛利 勝彦
〈書評〉	
権赫泰著、鄭栄桓訳 『平和なき「平和主義」』……………	清水 耕介
清水聡著 『東ドイツと「冷戦の起源」1949～1955年』……………	妹尾 哲志

国際政治

199